

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 事業名 | 木島平村の強みを活かしたウォーキング&サイクルツーリズム事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 一般社団法人 木島平村観光振興局 0269-82-2800 |
| 事業区分 | ⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 (ア特色ある観光) |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 2,443,633 円 (うち支援金 : 1,922,000 円) |

事業内容

木島平村に点在する観光資源を発掘すべく、村の強みである「自然豊かな農村」という面を活かしながら、観光関係者はもとより一般村民を交えて、木島平村を訪れた際の周遊を目的として、次の事業を実施した。

- ・木島平村周遊パンフレットの作成
- ・村内周遊の足として E-BIKE を導入
- ・村内周遊の施策としてスタンプラリーの開催
- ・ウォーキングイベントの開催



【森林ウォーキングイベント】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・パンフレットの作成やスタンプラリーの実施によって木島平村観光素材の活用と可視化、あらたな観光資源の発掘が行えた。
- ・信越自然郷でのサイクル事業に取り組む組織との意見交換を行いながら、レンタサイクル及びサイクルツーリズム事業をスタートさせることができた。
- ・新たな移動手段としてレンタサイクルを実施したことや、スタンプラリーにより村内54軒の商店(事業所)の消費・利用促進及び観光事業への意識醸成つなげることができたと考える。

【目標・ねらい】

- ①数ある観光スポットの再認識と周遊性の向上
- ②観光業のみならず多業種が誘客への関心を高める気運の醸成
- ③E-BIKE を周遊のあらたな手段として定着させるための PR

※自己評価 【 B 】

【理由】
当初予定をしたグリーンシーズンの企画が実施できなかったものの、スマホを使った非接触によるスタンプラリーや、E-BIKE による周遊サイクリングを目的とする来訪者を開拓し始めることが出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・1カ所でも多くのスポットを認知してもらい、訪れてもらうため、村内の周遊率を高める取り組みとして、E-BIKE を活用した取り組みを今回スタンプラリーに参加いただいた事業者等を交えて検討することとする。
- ・自転車の取り組みで村内のみではなく自然郷管内の団体と連携した取り組みを行い、このエリアでのサイクルツーリズムを確立していくこととする。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
- 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある